

第4回 室蘭市観光拠点づくり検討委員会 議事概要

日時：平成29年12月18日（月）14:30～

場所：室蘭市役所2階3号会議室

1. 開会

事務局：（開会）

2. 委員長：あいさつ

委員長：（挨拶）

3. 議題

【提言書（案）について】

委員長：事務局より説明をお願いしたい。

事務局：（資料1説明）

委員長：P4の黒丸のみが表示されている部分については、特に皆さんの意見を伺いたい。それ以外の部分の意見も頂戴したいがどうか。

委員：水族館から道の駅の動線確保、屋台村の雰囲気等の改善ができればいい。合わせて、ベンチ等の設置があるといい。

委員：屋台村の外から見た雰囲気の見直しについて、今後どうしていくかが難しいところ。

委員：道の駅では、市内の商店街への誘導、周辺施設や市内の観光施設の情報提供を、そこのスタッフが観光案内をできるようにとあるが、スタッフは手いっぱいである。観光情報案内のためのスタッフが必要になる。どのようにそれをするか。観光協会をこちらに移すか。

委員：スタッフは実際に観光客に尋ねられると、市内観光案内について対応している。ただ、ゴールデンウィークや夏休み期間中のように繁忙期は、観光協会の職員が対応するようにしている。引き続き市内観光知識の強化、研修等も必要だと思う。

委員長：室蘭まで来て、具体的な情報というより、スタッフと会話するだけでも楽しいと思う。そういった気さくなスタッフをそろえるべき。

委員：道の駅に入るパーキングのところに、もう少し屋台村をPRするような看板があるといい。ポスター、パンフレット以外のウェブ、SNS等でも情報発信を取り入れていくべき。

委員：予算との関わりがあると思うが、管理運営体制強化の検討も提言には必要である。

委員長：観光客の満足度を高めることが必要。満足度を高めるための仕掛けづくりがあるといい。

委員：屋台村との連携については、提言書の導入部分に掲載しなくてもいいような気がする。

事務局：今回の検討の前提として、検討対象エリアを定めている。屋台村も含めた対象エリアを検討しなければならない。

委員：水族館を道の駅の近くに見せるような動線づくりが必要。

飲食スペースが大幅に改善されるが、SNSで拡散してもらえるようなメニュー、見た目、容器の工夫等が必要である。

屋台村は、店舗の集約化等の検討が必要である。
道の駅は、車で旅をしている人向けに、駐車スペースを空き地側に増設等の検討はどうか。

委員：最終的に、屋台村をどうするか。市の方で室蘭開発と協議していただきたい。

委員長：物販コーナーを再整備していくので、物産という言葉不提言書に入れて頂きたい。市の体制として物産の強化に向けた対応をしていくことが必要。物産担当窓口は、こういうものを売りたい、企画を持ちかけたりできるような体制づくりを検討していただきたい。

道の駅は、本来、車で来ることを前提にしているが、車で来ない人に対しても何かサービスがあるといい。JRで来て、道南バスにも乗車したら、水族館無料にする等のサービスはどうか。

委員：室蘭らしさが必要。室蘭にわざわざ来る意味、ここでしかできない体験等があるといい。

委員長：昔、室工大で、1,000人分位のジンギスカン鍋を作ったことがある。イベント的なものか。

委員：情報発信で、SNSの活用もなかなか難しい。新しくコンテンツをつくっても、それが受けるかどうか。

発信しているだけではフォロワー数は増えない。着地でも発地でももっとPR活動をしたほうがいい。

道の駅だけではなく室蘭市全体で、パンフレットはあるものの、入手できる場所が少ない。また、室蘭で一日どうやって楽しめるかという提案に関する情報発信も必要。

室蘭に人が来ていないわけではないので、道の駅に来ていないが室蘭までは来ている人に道の駅にも立ち寄ってもらえるようにする。ナイトクルージングを目的に来た人に道の駅に寄ってもらう等の工夫が必要。

委員：キャンピングカーで来ている人に対応したサービスの提供も必要か。水道、火等の宿泊に便利な設備が必要か。なお、その使用料は設定する。

委員：道の駅の中の活性化できていないのに、周辺含めた全体で活性化するというのは難しいのではないか。

事務局：このエリアを対象とした「観光拠点づくり」が今回の検討の目的である。ただ、核となる施設は、やはり道の駅である。そこでまずは、道の駅の飲食、物販強化から始め、段階をふまえて検討を進めていくということ。

委員長：全体で検討するが、まずは道の駅の見直しがスタートライン。そうして周辺と整合性もはかっていく。

委員：飲食・物販の具体的施策で、チャレンジショップを設けるとあるが、例えば、伊達市の道の駅では一部の棚を農家に貸して、売り上げを上げて活性化させている。他にも事例があるか。

委員：鹿部では、温泉が湧いているのでそこで鹿部の海産物を蒸せるようになっていたり、浜のかあさん体験もあり、漁師の奥様方と一緒にたらこづくり体験、昆布でアクセサリづくり体験ができ、その土地ならではの体験型メニューが用意されている。

委員長：地元金融機関が、取引先にチャレンジショップへの出展を促すのはどうか。

委員：チャレンジショップは、出展者側がもっと自発的になってもらいたい。受け身では継続していかない。自発的に活性化させる仕組みをどうつくれるかがポイントになる。

委員：まずは、チャレンジショップでお試して事業をスタートして、成功すれば市内に店舗を持つという事例もある。

委員：提言書で、具体的に屋台村という項目があるが、水族館、パークゴルフ場等とあわせて動線の話にまとめるか。合わせて、水族館のチケットを道の駅で売っていく等、施設間の連携をとるという話にまとめるか。

委員：イベントとして、ファーマーズマーケットか何かやっているか。

事務局：朝市をやっている。

委員：例えば、白鳥大橋に関するイベントはどうか。

委員長：アクティビティーの拠点にもなっていければいい。
展望台まで歩いて行く人はいないのか。

委員：ほとんどいない。

委員長：展望台からは夕日がきれいに見える。ハイキング等もいいかもしれない。

委員：このエリアにあるパークゴルフ場は、道内のパークゴルフ界では景色がよいところとして有名らしい。道の駅の中に、パークゴルフ道具のレンタルができるようになっているといい。

委員：数年前に、パークゴルフ体験+道の駅でソフトクリーム+ゆららの温泉入浴をセットで1,000円で売り出したが売れたのは1件だけだった。PRが足りなかったのかどうか。

委員：個人客を対象に、そういった形のものを売ってもなかなか難しい。団体客はどうか。

【フロア別配置イメージ（案）について】

委員長：事務局より説明をお願いしたい。

事務局：（資料2説明）

委員：商品の在庫はどこに置くか。

事務局：在庫は、P5売店の会計の右側の部屋に置く予定としている。

委員：レジの台数が増えるので、人手確保は大丈夫か。

事務局：体制を整えていく。

委員：道の駅を整備するときの失敗例として、大概、行政が建物をつくり、その後に指定管理者を決め、指定管理者にとってはレジの配置等が悪く、再度配置に関わる工事をし直すことになる。設計業者にイメージ図をつくってもらう際には、実際にテナントとして入る業者（焼き鳥屋等）と一緒に考えるべきで、運営体制をちゃんと整えた上で絵を描くことが大事。

事務局：今回お示ししたイメージ図は、あくまで空間の使い方をイメージとしてわかるように描いている。実際の什器の配置等は、提言書の中にも記載しているようにコーディネーター、飲食店舗等を手がけているような専門家の意見を聞きながらやっていく。テナント事業者との関係、観光協会との関係もあるので、道の駅内の配置、動線含めて、十分詰めて今後決めていきたい。

委員：P9の1階のホールは、入ってきたときに、何となくいかにも博物館というつくりになっているので、何か楽しそうな雰囲気を出し、右と左の飲食・物販コーナーに、いかに人に動いてもらうかということが大事。

委員：道の駅への入りやすさの工夫がほしい。本当はもっと入り口を変えてほしいが、予算の関係もあると思うので。

飲食スペースは天井が高いため、めり張りがほしい。光熱費の問題もあるので、工夫されたいかがか。

委員：最近、フードコートのようなところでは、券売機で食券を買って、できあがったらブザーがなる機械を渡されて、テーブルで待っているというシステムが多い。そうすると、飲食コーナーにはレジが要らない。

委員：P9の正面の情報板の前に、インフォメーションデスクがあるといい。

事務局：例えば、ゴールデンウィーク等の繁忙期のみ臨時で設けるか。

委員：P2の図にある焼き鳥を焼く台等の設備は、市が用意するのか。

事務局：換気設備、配管、ガス、水道整備は市が用意する。
厨房機器、例えば焼き鳥を焼く機械等はテナント事業者が用意する。

委員長：飲食コーナーには、コーヒーとソフトクリームのお店、室蘭焼き鳥店、スイーツ店のテナントが入るのか。

事務局：スイーツコーナーは、催事の形とする。

委員長：物販コーナーは、レジが一箇所か。このように大きなフロアのお店の運営するのはかなり大変なのではないか。

事務局：バックヤード、物品庫のとり方が今、図の中で描かれているものの、その辺をどういうふうにとるかというのはこれから検討が必要である。

委員長：現在スタッフは常駐は2名か。

委員：冬場はちょっと少ないが、いつもは4名でやっている。業者が決まってからの話になるが、焼き鳥だとかなり煙が出る。そのことも考えていくべき。

事務局：市の工事の中で換気については検討している。現在2.5メートルの換気がついているので、使っていない側にこれを有効に使えないかという検討もしている。

4. その他

事務局：次回第5回目は、2月頃の開催を予定している。提言書の最終案をお示しする。

5. 閉会

事務局：（閉会）

以上